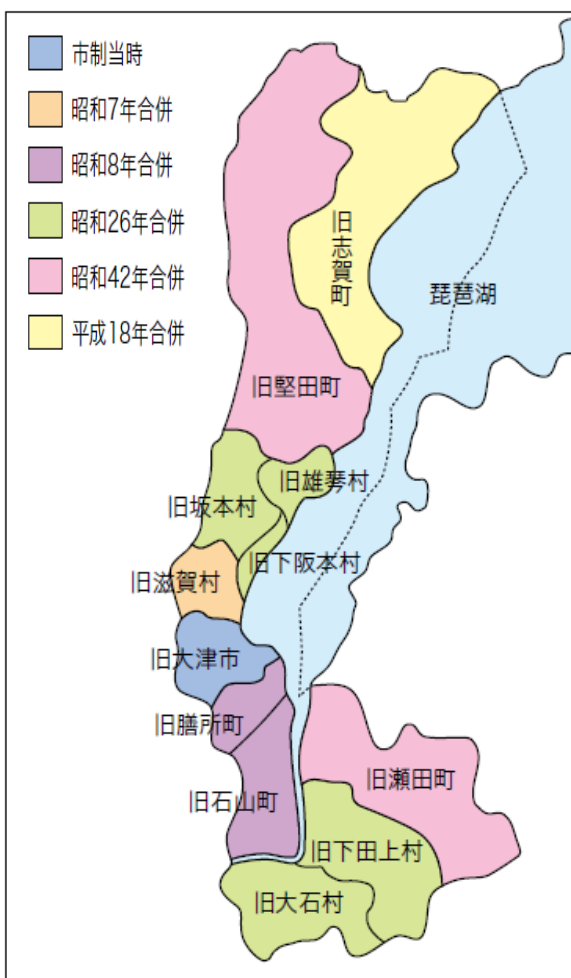


1 大津市の変遷と市章



大津市の「大ツ」を図案化したもので「大」は鳥の飛躍を形作り、「ツ」は景勝「びわ湖」の展望を表すもので「大ツ」の文字は、国際文化観光の都大津の躍進発展を象徴しています。(昭和33年10月1日制定)



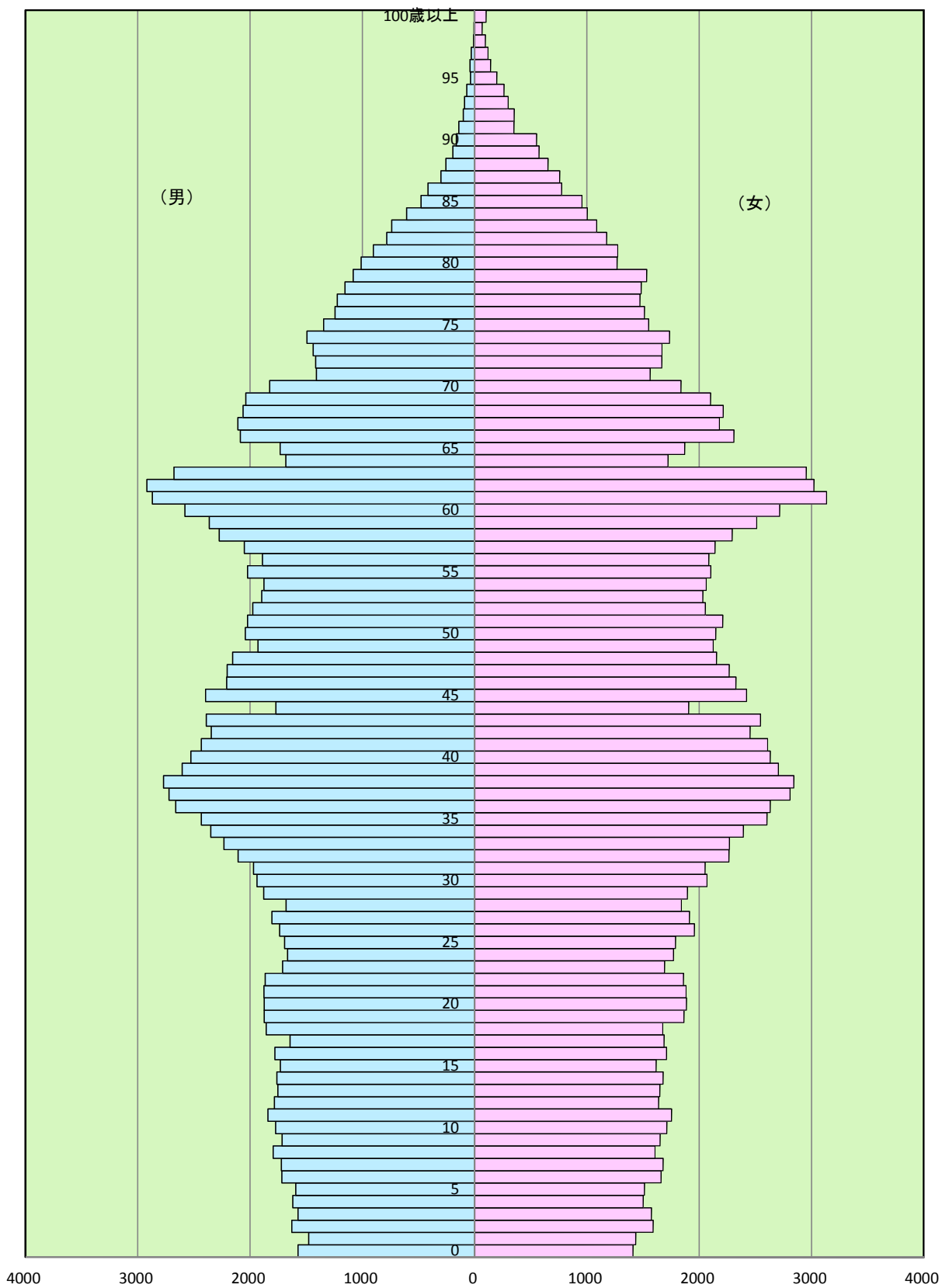
※ ----- 琵琶湖の市町境界線

区分	当時の総面積	総人口
市制施行 明治31. 10. 1 (1898年)	14.20 km ²	32,446人
滋賀村合併 昭和7. 5. 10 (1932年)	28.39 km ² 滋賀村 (14.19 km ²)	42,364人 (3,229人)
膳所、石山町合併 昭和8. 4. 1 (1933年)	62.48 km ² 膳所町 (9.26 km ²) 石山町 (24.83 km ²)	69,116人 (16,073人) (8,957人)
雄琴、坂本、下阪本 大石、下田上村合併 昭和26. 4. 1 (1951年)	154.50 km ² 雄琴村 (5.01 km ²) 坂本村 (19.70 km ²) 下阪本村 (3.70 km ²) 大石村 (36.91 km ²) 下田上村 (26.70 km ²)	102,860人 (1,983人) (6,385人) (3,548人) (2,294人) (3,399人)
瀬田、堅田町合併 昭和42. 4. 1 (1967年)	303.68 km ² 瀬田町 (52.16 km ²) 堅田町 (96.61 km ²)	159,442人 (20,516人) (17,517人)
志賀町合併 平成18. 3. 20 (2006年)	374.06 km ² 志賀町 (71.73km ²)	327,479人 (23,201人)
現在 平成24.4.1 (2012年)	464.10 km ²	340,339人

(注) 1. 人口は、住民基本台帳及び外国人登録の合計である。
2. 公有水面埋立による市域拡張分も含む。
3. 平成15年から国土地理院公表面積に統一している。
4. 志賀町合併時の人口は、平成18年3月末現在である。
5. 平成24年4月1日現在の総面積は、琵琶湖の境界確定(平成19年9月28日)により変動したものである。

2 年齢別人口

(単位):人



資料:平成22年国勢調査
年齢不詳(男1,839人・女1,261人)は含まない。